

# 令和6年度計画について

仙台市交通事業経営計画  
(令和3～12年度)



仙台市交通局

# 目次

※令和6年度に実施予定の主要なトピックスを抽出しています。

[ ]はスライド番号

## 1. 安全・安心の推進

- ◆ バスの安全運行確保の取組み … [5]
- ◆ 車両標準装備の拡充 … [6]
- ◆ 大雨による浸水への対応 … [7]
- ◆ 音声案内AIシステムによる地下鉄駅構内の一斉放送 … [8]
- ◆ キャリーバッグ落下防止キャンペーンの実施 … [8]
- ◆ エスカレーターマナーアップキャンペーンの実施 … [8]
- ◆ 南北線3000系の営業運行開始 … [9]

## 2. お客様の利便性向上

- ◆ 市バス運行情報のオープンデータ化 … [10]
- ◆ キャッシュレス決済の検討 … [11]
- ◆ イベントに合わせた地下鉄時間券の販売 … [12]
- ◆ 学都仙台フリーパスの販売促進 … [13]
- ◆ 新たな学生フリーパス（せんだいバスFREE+）の導入 … [14]
- ◆ 子育て世代向けの利便性向上 … [15~16]
- ◆ 敬老乗車証制度見直しに伴う利便性向上 … [17]
- ◆ 新紙幣への対応 … [18]

- 3. **安定した事業運営のための体制整備（経営改善に向けた取組み）**
  - ◆ 市バス便数調整の実施（令和6年4月） … [19～20]
  - ◆ 新車購入台数の変更 … [21]
  - ◆ 電気バス導入に向けた取組み … [22]
  - ◆ 市バス営業所建物の更新 … [23]
  - ◆ 地下鉄駅業務委託の実施 … [24]
  - ◆ 列車の回生電力の有効活用 … [25]
  - ◆ 地下鉄駅施設への太陽光発電設備の設置 … [26]
  - ◆ 各種起債制度を活用した資金調達 … [27]
  - ◆ 経営の更なる改善手法検討 … [28]
  - ◆ 人材確保における課題 … [29]
  - ◆ DXによる事務の効率化 … [30]
- 4. **その他** … [31～32]

### ◆ バスの安全運行確保の取組み（参考資料1 p.1）

#### ○有責事故抑止目標（令和6年度）

- ・バス停発進時の車内転倒事故ゼロを目指す
- ・車内転倒事故を含む、全ての重大事故ゼロを目指す
- ・回転場・起終点での事故ゼロを目指す
- ・数値目標

有責事故抑止目標（総件数）…86件

#### ○抑止目標達成のための取組み

人身事故惹起者等について、外部専門機関の行う研修に派遣し、再発防止の意識醸成及び運転技術の向上を図る。



## 安全・安心の推進

### ◆車両標準装備の拡充（参考資料1 p.10）

#### ○ドライバー異常時対応システム（EDSS）＋ドライバーステータスマニター（DSM）

EDSS  
令和元年度～

走行中ドライバーが急病などで安全に運転できない状態に陥った時、乗客や乗務員が非常ブレーキスイッチを押す（令和6年3月末時点で**127台**/466台装備）

DSM  
令和5年度～

カメラが乗務員の居眠り等の姿勢崩れを検知（シート振動と点滅警）、およそ5秒応答なしでEDSSが作動

減速して  
車両を停止させる



#### ○バックカメラの追加（令和5年度～）

保安基準改正に基づき、新法規に適合したバックカメラ＋モニターを標準装備。

## ◆ 大雨による浸水への対応（参考資料1 p.19）

### ○ 仙台駅東西地下自由通路浸水経緯

- ・ 令和5年9月5日（火）ゲリラ豪雨のため仙台駅東西地下自由通路の北7出入口から浸水があり、通路が通行止めとなった（16：40～23：00）。
- ・ 令和5年9月6日（水）仙台駅東西自由通路の北7出入口に浸水の恐れがあり、止水板を設置の上、出入口を封鎖した（9：20～17：40）。

⇒ 仙台駅東西自由通路における今後の浸水対策について、通路を所管する青葉区道路課と検討を進めていく。



### ◆ 音声案内AIシステムによる地下鉄駅構内の一斉放送（参考資料1 p.15）

○令和6年度より、音声案内AIシステムを活用した地下鉄運行不能時における駅構内管区一斉放送の運用を開始。

### ◆ キャリーバッグ落下防止キャンペーンの実施（参考資料1 p.9）

○地下鉄駅構内のエスカレーターでキャリーバッグが落下し、他のお客様に衝突するという事故が発生していることから、令和5年度より啓発活動を実施。

### ◆ エスカレーターマナーアップキャンペーンの実施

○エスカレーターの左右両側乗車を促すため、駅構内での街頭キャンペーン等の取組みを行っている。

○エスカレーター乗り口における啓発のためのフロアシート設置に向けたデザイン及び設置箇所等の検討を進めていく。



▲キャリーバッグ落下防止キャンペーン



▲エスカレーターマナーアップ  
キャンペーン



## 安全・安心の推進

### ◆ 南北線3000系の営業運行開始 (参考資料1 p.25)

- 令和6年秋より南北線新型車両の運行を開始。
- 現在は、営業ダイヤの合間に走行試験を実施。
- 3000系のオリジナルグッズを作成予定。  
(下記は現在販売中の3000系オリジナルグッズ)

▼ペンケース 1,500円



▼ハシ鉄 700円



▲南北線3000系

「やさしさアップ! 乗ってワクワク!」  
がキャッチフレーズ

- 令和12年度までに最大22編成の導入を計画。

R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1編成	2編成	3編成	4編成	3編成	4編成	2~5編成

## お客さまの利便性向上

### ◆市バス運行情報のオープンデータ化（参考資料1 p.37）

- 市バス利用のさらなる促進のためには、これまで以上に運行情報を適時にわかりやすい形で発信することが必要であることから運行情報のオープンデータ化を進める。
- 現在、市バスの運行情報は「どこバス仙台」サイトにおいて確認することができるが、オープンデータ化により、民間企業の地図アプリ・乗換案内サービス等にも市バス運行情報を反映できる環境を整え、更なる利便性向上を図る。
- オープンデータ化を行うために各種システムの設定変更、改修を行う。

#### ▼どこバス仙台による運行情報検索イメージ

The screenshot displays the 'どこバス仙台' website interface. At the top, it shows 'バス接近情報 (一覧)' and 'バス位置地図表示' with a refresh icon and the time '18:38'. Below this, the route '五橋駅 - 仙台駅前' is selected, with a '並び替え' button and a dropdown menu set to '接近順'. A progress bar indicates '7 個前の停留所を通過' (7 stops passed). The main content area shows two bus entries:

乗車人数	バス番号	五橋駅 予定時刻	仙台駅前	所要時間	車種	通過停留所一覧
6人程度乗車中	J411	18:47		6分	ノンステップバス	
広瀬通駅・定禅寺通市役所 経由 交通局東北大学病院 行き						
9 個前の停留所を通過						
11人程度乗車中	K506	18:45		6分	ノンステップバス	
広瀬通駅・県庁市役所 経由 交通局東北大学病院 行き						

#### ▼民間サービスへの反映



## お客さまの利便性向上

### ◆ キャッシュレス決済の検討（参考資料1 p.50）

- 仙台市では、令和6年度の施政方針において、交流人口の拡大に向けた新たな観光戦略を策定し、効果的な誘客と魅力の発信を進めることとしている。
- 令和6年8月（予定）～令和8年3月の期間中、るーぷる仙台でクレジットカード等のタッチ決済を利用した乗車サービスの実証実験を行う（文化観光局の事業として実施）。
- 市バス・地下鉄においても、利用者のニーズを的確に捉え、環境に合った決済手段の構成を検討していく。



▲るーぷる仙台

## お客さまの利便性向上

### ◆ イベントに合わせた地下鉄時間券の販売 (参考資料1 p.32)

仙台MaaSにて、地下鉄南北線+東西線で利用できる時間券をイベントに合わせて販売。

#### ○Pokemon GO Fest 2024：仙台 地下鉄時間券

(販売期間：令和6年5月21日(日)～6月2日(日))

#### ○東北絆まつり2024仙台 地下鉄時間券

(販売期間：令和6年5月29日(水)～6月9日(日))



▲券面イメージ



## お客さまの利便性向上

### ◆ 学都仙台フリーパスの販売促進（参考資料1 p.33）

#### ○ 学都仙台フリーパス購入キャンペーン

- ・ 通勤定期や区間通学定期券に比べ、学都仙台フリーパスはコロナ禍による影響からの回復が鈍い。
- ・ 令和6年3月18日（月）～4月30日（火）の期間中に学都仙台フリーパスを購入した方に、抽選で交通局オリジナルグッズをプレゼントするキャンペーンを実施し、販売促進を図る。



学都仙台フリーパスをご購入いただいた方に抽選で交通局オリジナルグッズをプレゼント！

**A賞 20名様**  
ペンケース  
市バス・南北線3000系いずれか

**B賞 20名様**  
オリジナルバスケース

はずれた方も  
**Wチャンス賞**

**2024年3月18日（月）～4月30日（火）**

▲学都仙台フリーパス購入キャンペーンバナー



学生・生徒・児童の買得期外  
通学以外にも！

学都仙台 市バス・地下鉄  
**フリーパス**

がおすすめ！

指定した路線が定額で乗り放題になる通学定期券です！  
利用区間によっては区間通学定期券よりもお得！

3つのおすすめポイント

- 定額乗り放題！  
購入した路線のすべての駅・停留場で乗り降り自由！
- 通学以外にも！  
お買い物や遊び、アルバイトにも利用でき便利です！
- 学生証で購入OK！  
学校で発行する通学定期券が不要！購入も簡単！

路線	対象区間	大人1ヶ月	小児1ヶ月
市バスフリーパス	市バス	5,970円	2,990円
地下鉄フリーパス	南北線	6,990円	3,500円
	東西線	6,990円	3,500円
市バス+地下鉄フリーパス	地下鉄全線	8,390円	4,200円
	市バス+南北線	11,140円	5,580円
	市バス+東西線	11,140円	5,580円
	市バス+地下鉄全線	12,330円	6,170円

※市バス+地下鉄全線は、市バス・南北線3000系に限り適用されます。

定期券券面表示  
仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局

仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局

仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局 仙台市交通局

▲学都仙台フリーパスポスター  
（フリーパス利用の多い学校あてに送付）

◆ 新たな学生フリーパス（せんだいバスFREE+）の導入（参考資料1 p.33）

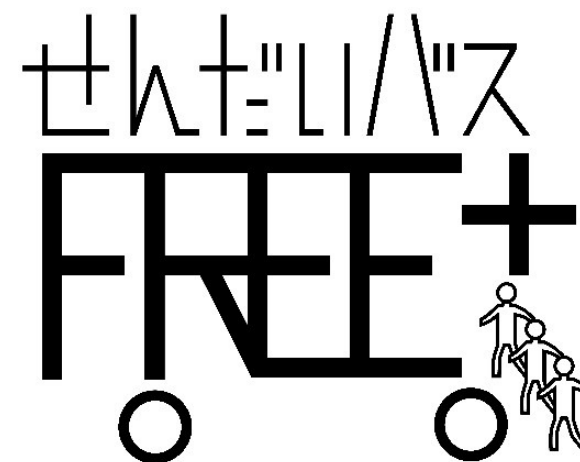
○概要

- ・市バスと宮城交通バスを両方利用できる新しいフリーパス（通学定期券）を令和6年10月より、宮城交通定期券発売所にて販売するという本市都市整備局の事業。

（参考 せんだいバスFREE+：8,000円/月 学都仙台フリーパス：5,970円/月）

○交通局での実施内容

- ・新たな学生フリーパスは既存の学都仙台フリーパスと販売窓口が異なるため、混乱が起きないように、都市整備局と連携した広報を実施予定。



▲せんだいバスFREE+ロゴ

## お客さまの利便性向上

### ◆ 子育て世代向けの利便性向上 (参考資料1 p.40)

#### ① 小児運賃低廉化実証実験

○子育て応援！ハッピー・ファミリー・ライド概要

- ・土日祝日のみ小児運賃無料
- ・大人同伴必須 (大人1人につき小児2人まで)

○対象路線

- ・市バス・地下鉄南北線・東西線 (楽天シャトル、るーぷる仙台を除く)

○実施期間

- ・令和6年4月27日 (土) ~5月6日 (月・祝)



#### ② 子育て応援自動販売機の設置

○飲料のほか紙おむつやおしりふきも購入できる子育て応援自動販売機を、令和6年4月に地下鉄仙台駅西改札の授乳室付近に設置予定。



▲授乳室 (仙台駅)



▲設置自販機イメージ

(次ページへ続く)

## お客さまの利便性向上

### ③ ベビーカースペース

- 令和6年秋に営業運転を開始する南北線3000系は、従来車両では1編成2箇所又は3箇所であった「車いす・ベビーカースペース」を、1編成4箇所（1両あたり1箇所）に増設。
- 新型車両が営業運行を開始する時期に合わせ、お客様に安心してベビーカーをご利用頂き、また周囲のお客様にも配慮を求めることの啓発を目的としたマークを交通局独自に作成し、車いす・ベビーカースペースに掲出する。

### ④ 子育て世代の利用促進に向けた広報

- 新型車両が営業運行開始する時期に合わせ、車内にポスターを掲出する等、子育て世代が利用しやすい環境となるよう積極的に広報を行う。



▲地下鉄車内の  
ベビーカースペース



## お客さまの利便性向上

### ◆ 敬老乗車証制度見直しに伴う利便性向上対応（参考資料1 p.56）

○ 令和6年10月、仙台市行政施策である「敬老乗車証制度」の利用者負担割合が見直される。

介護保険料所得段階 1～4の方	： 現行5%	→	10%
介護保険料所得段階 5以上の方	： 現行10%	→	25%

○ 利便性向上の取組みとして、令和7年10月より敬老乗車証専用の無人チャージ機が複数の地下鉄駅構内に設置される予定。それまでの暫定的な取組みとして、令和6年10月に地下鉄駅構内に有人のチャージ専用窓口が設置される。

○ 交通局の対応

- ・ 制度の円滑な導入に向けて関係部署と連携し、情報共有等徹底する。
- ・ 有人窓口及び無人チャージ機の設置に向けた協力を行う。



## お客さまの利便性向上

### ◆ 新紙幣への対応（バス車載機・地下鉄券売機）（参考資料1 p.23、p.49）

- 令和6年7月に流通が開始する新紙幣に即時対応できるよう、バス・地下鉄の両替機や券売機等の各種機器類を整備する。
- バス車載機は新紙幣発行にあわせてソフトウェアを更新することで全車一斉に対応可能となる予定。
- 地下鉄においては、各改札に新札対応の券売機及び精算機を最低1台設置する予定。



出典：国立印刷局

#### ▼バス車載機の紙幣挿入口



#### ▼地下鉄券売機



◆ 市バス便数調整の実施（令和6年4月）

（参考資料1 p.78）

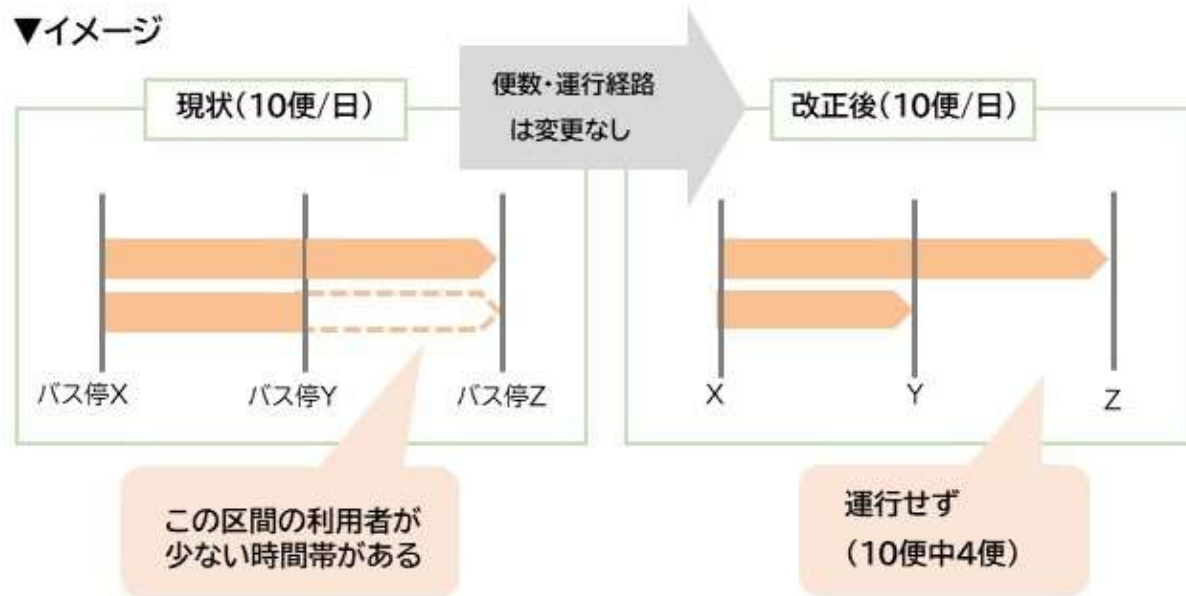
① 利用状況に応じた便数調整

平日は夜（20～22時台）を中心に、土日は全時間帯を対象として便数調整を実施。

② 利用状況に応じた運行距離の削減

時間帯によって利用の少ない区間は運行を行わないことで、運行する距離を削減。

▼イメージ



③ 利便性向上

一部路線（鶴ヶ谷・南光台線、作並線、定義線、蒲生線）の延伸や経路変更を実施。

（次ページへ続く）

## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ○経営計画で予定していた便数調整による事業量削減と効果額

計画期間（令和3～12年度）中に約12.5%の事業量削減

（令和3年4月、令和6年4月、令和8年4月、令和10年4月、令和12年4月に各2.5%削減）

計画期間中の累計で約22億円の効果額を見込んでいた。

### ○事業量・経費削減効果見込額（令和2年度比）

- |                |  |
|----------------|--|
| ・ 令和3年4月ダイヤ改正時 | 事業量： <u>2.6%削減</u><br>経費節減効果額：約 <u>8,200万円/年</u>   |
| ・ 令和5年4月ダイヤ改正時 | 事業量： <u>1.3%削減</u><br>経費節減効果見込額：約 <u>6,000万円/年</u> |
| ・ 令和6年4月ダイヤ改正時 | 事業量： <u>2.7%削減</u><br>経費節減効果見込額：約 <u>7,500万円/年</u> |

⇒これまでの便数調整により、令和6年度で6.6%の事業量削減（約2億円/年の経費節減）を見込んでいる。

## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ 新車購入台数の変更（参考資料1 p.73）

○車齢や車両の状態から計画的な更新に努めてきたが、厳しい経営状況を鑑み、新車の購入台数について、以下のとおり購入車両数を減ずる見直しを行った。

なお、車両個別の状態変化のきめ細かな把握と、部品交換管理の徹底等の予防整備の充実により安定した車両維持に努める。

### 年度別実績及び見直し更新計画

年度	更新車両数		最高車齢 (年)	費用圧縮見込み額 (単位：万円)	
	当初計画	実績と 見直し			
令和3年度	25	25	25	—	
令和4年度	25	22	25	—	
令和5年度	25	28	26	—	
令和6年度	25	15	23	▲25,000	計▲75,000
令和7年度	25	15	23	▲25,000	
令和8年度	25	15	23	▲25,000	

※ 令和9年度以降は電気バス導入の調査検討等に合わせて精査する。



## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ 電気バス導入に向けた取り組み（参考資料1 p.61）

○改正省エネ法の施行により、保有台数に占める非化石エネルギー自動車に関する2030年度の導入目標（保有台数の5%）が設定されたため、電気バスの導入に向け以下のとおり取り組む。

#### 令和6年度

電気バスの課題や技術の進歩等について、車両メーカー・充電メーカー・関係機関等から最新情報の収集を行うとともに情報整理を行う。

- ・車両の性能
  - ・バッテリーの規格/性能
  - ・国等の補助制度
  - ・他事業者の動向
  - ・車両のメンテナンス性
  - ・充電設備の規格・仕様
  - ・市場の動向
- 等

#### 令和7年度

車両等の技術、費用・補助制度・他都市の動向等の情報収集と整理を引き続き行う。

調査検討を行い具体的な導入計画を作成する。

- ・事業スケジュール
  - ・車両や施設の運用計画
  - ・施設の改修計画
  - ・車両や設備の選定
  - ・PPAモデル
  - ・LCC
- 等



令和12年度（2030年度）までに導入計画に基づき電気バスを導入

## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ 市バス営業所建物の更新（参考資料1 p.24）

○川内営業所の建物更新（令和8年度工事完了予定）

川内営業所について、施設の長寿命化を図るとともに、長期的視点で維持管理費の節減を目指す。また、設計においては、環境への影響も配慮したものとしている。



▲老朽化が進む川内営業所

## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ 地下鉄駅業務委託の実施（参考資料1 p.76）

#### ○現状

種別	全駅数	委託駅数	委託駅名	現委託事業者	現契約期間
南北線	17	10	黒松、旭ヶ丘、台原、北仙台、北四番丁、五橋、愛宕橋、河原町、長町一丁目、長町	(株)セノン	令和2年3月27日～ 令和7年3月31日 ※委託駅での業務は 令和2年4月1日から開始
東西線	13	10	青葉山、川内、国際センター、大町西公園、青葉通一番町、宮城野通、連坊、薬師堂、卸町、六丁の目	ALSOK 宮城(株)	令和2年11月4日～ 令和8年3月31日 ※委託駅での業務は 令和3年4月1日から開始

○現在の駅業務委託の契約金額をもとに試算した経費削減効果額は、南北線・東西線合わせて約200百万円/年。

⇒経営の更なる効率化による持続可能な経営を目指し、南北線については次期業務委託が始まる令和7年度から委託駅を拡大することとする。  
(令和7年度に長町南駅、令和8年度に八乙女駅を委託開始)

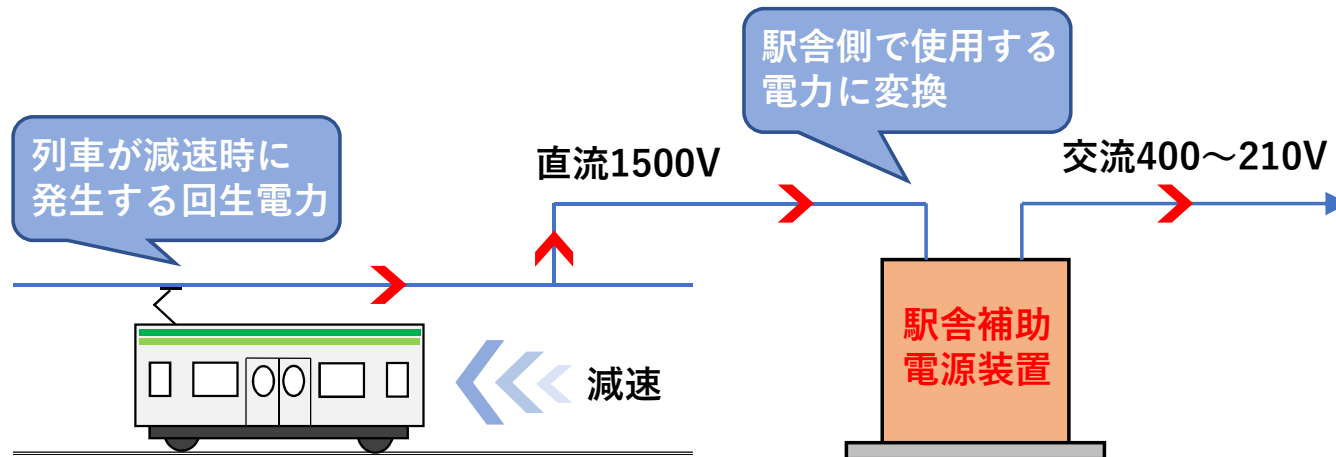
なお、仙台駅のような主要駅や異常運転時に運転取扱業務が生じる可能性が高い端末駅は委託対象外とするため、東西線は委託駅の拡大は行わない。



## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ 列車の回生電力の有効活用（参考資料1 p.61）

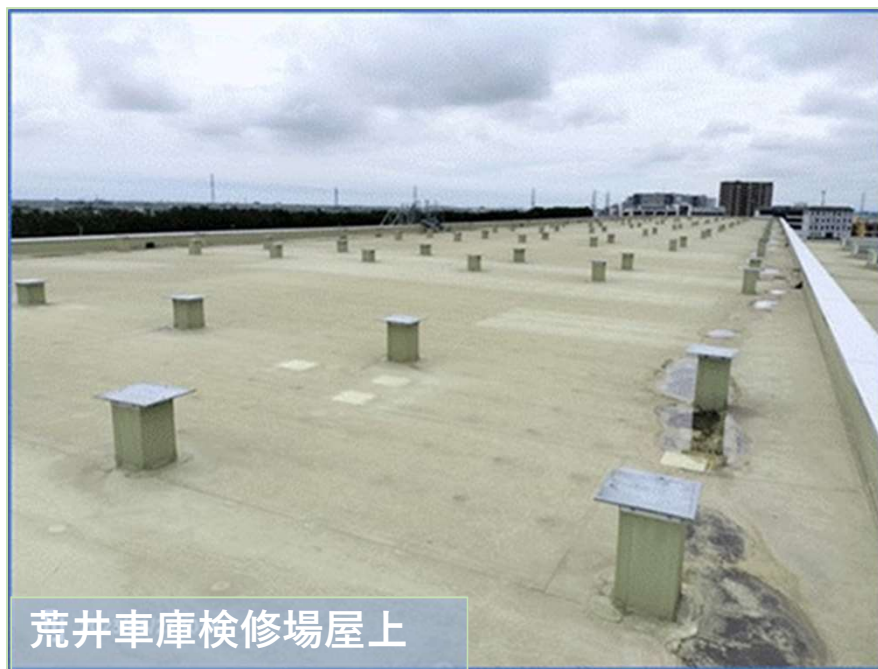
- 南北線の車両、東西線の車両及び駅舎において回生電力を活用している。
- 令和6年度、南北線車両からの回生電力を駅舎でも有効に活用できるよう、八乙女変電所における駅舎補助電源装置を発注する（令和8年度完成予定）。
- 駅舎補助電源装置設置における回生電力の有効活用により、約190,000kWh/年削減（CO2排出削減量約88t/年）見込み。



## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ 地下鉄駅施設への太陽光発電設備の設置（参考資料1 p.61）

- 地下鉄施設を活用した太陽光発電設備を令和6年度発注、令和7年度完成予定。
- 荒井車庫検修場及び荒井駅屋上に設置予定。
- 約77,000kWh/年 発電（CO2排出削減量約35t/年）見込み。



◆ 各種起債制度を活用した資金調達（参考資料1 p.82）

○交通事業債（経営改善推進事業）の活用【自動車運送事業会計】

【対象事業】資金不足が発生し、経営戦略を改定又は改定に着手している団体

【発行対象】経営改善効果額を限度に、資金不足額及び経営改善の実施に必要な経費

【経営改善効果額】収支改善見込額×5年分の合計額

【発行期間】令和8年度まで※償還年限は15年

【令和6年度予算】自動車運送事業会計において、令和8年度の運賃改定による収支改善を見込み、10億円の借入を計上

※令和2年度以降、コロナによる減収に対応するために発行していた特別減収対策企業債は令和5年度で制度終了となった

○資本費平準化債の拡充【高速鉄道事業会計】

【対象事業】インフラ整備に多額の費用を要する下水道事業、交通事業等

【発行対象】企業債償還金－既発の平準化債の償還金－減価償却費

※令和6年度より下線部分が削除され、発行対象が拡充

【令和6年度予算】高速鉄道事業会計において、11.8億円の借入を計上（制度拡充前は発行不可）

## ◆ 経営の更なる改善手法検討

（参考資料1 p.85）

### ① 抜本的経営改善策の検討

- ・バス事業において、鉄道駅との結節強化や、始終発地や経由地が重複する運行系統の集約・統合など、路線再編について検討を行う。
- ・地下鉄事業において、駅構内における共有スペースの有効活用や更なる収入確保等に向けた企画検討を行う。
- ・**地下鉄降車後の乗客をバスへ誘導する仕組み等、更なるバス・地下鉄の連携強化について検討を行う。**



### ② 組織改正

- ・経営改善に向けた企画・立案等に係る検討体制強化を図るため、組織改正を行う。

【市バス事業】→輸送課の名称を変更し、「輸送企画課」とするとともに、新たな「事業企画室（係相当）」を新設し、バス事業の経営改善に向けた企画・立案等に係る体制を強化する。

【地下鉄事業】→営業課に「営業企画係」を設置し、地下鉄事業の収入確保に向けた企画・立案を強化する。

## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ 人材確保における課題（参考資料1 p.86）

#### ○ 職員の充足率

▼ 各年度4月1日時点の充足率

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
バス運転手	100.7%	97.3%	99.4%
地下鉄職員	99.5%	102.3%	103.3%

#### 【充足率の目標値】

バス運転手： 98%

地下鉄運転士： 95%

#### ○ 人材確保の困難と2024年問題

- ・ 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（通称「改善基準告示」）の改正や、大型二種免許保有者の減少・高齢化等により、バス運転手人材が全国的に不足。
- ・ 本市においても、経営状況の改善に加え、慢性的な運転手不足への対応を余儀なくされており、令和3年度、5年度、6年度にバス路線の便数調整を実施。

#### ○ 人材確保に向けた取組み

- ・ 職員募集ポスター作成、市政だより、就職サイト等の各種媒体への広告掲載。
- ・ 市内開催の合同企業説明会、東京開催のバス運転手希望者向けの合同企業説明会に毎年出展。
- ・ 若い世代をターゲットに、専門学校等へのPRや交通局ホームページ等において採用後の流れを紹介する動画を掲載。

## 安定した事業運営のための体制整備（経営改善）

### ◆ DXによる事務の効率化（参考資料1 p.92）

#### ① 局内事務端末及び各種業務システムの整備

○従来は紙による管理であったが、システム導入によるデジタル化で事務の省力化を図るため、庁内LANネットワークを拡充してデジタルインフラの整備を図る。

各種システム導入・更新

文書管理

庶務事務

日程管理

人事給与

#### ② 電子入札等の導入

○電子入札等の導入に向け、検討を進める。

#### ③ AIツール等の活用

○業務効率化及びお客さまサービス向上に資するAI等の利活用を検討する。

##### 【先行事例に基づく導入検討事例】

- ・ 社内知恵袋AI
- ・ 落とし物管理サービス
- ・ 予測分析AI
- ・ デジタルサイネージ接客AI
- ・ AI画像診断による各種検査



南海電鉄なんば駅に設置

参考：デジタルサイネージ接客AI設置例 30

## その他

### ◆ 令和6年度予算編成を踏まえた投資計画

計画期間中の主要な投資更新事業と事業費は以下のとおり。

#### ➤ 自動車運送事業

(単位：税込み、億円)

	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	総計
バス車両更新 (※)	→											62
バス車載機更新 (運賃箱・IC関連機器等)								→				31
営業所・整備工場 建物更新・改修	→			→								18
IC乗車券システム機器等更新	→						→					7

※中古車による更新は見込んでいない。他方、更新台数の見直し及び電気バスの導入 (R9～R12) を見込んでいる。

- ・事業費は、過去の実績等からの概算値である。
- ・事業実施・金額・規模等について、今後の経営状況や社会情勢等に照らして決定していく。
- ・矢印は、事業費執行予定額が大きい年度を示しており、必ずしも事業着手や終了の年次を示すものではない。

# その他

## ➤ 高速鉄道事業

(単位：税込み、億円)

	路線	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	総計	
南北線車両更新	南北線	→												189
券売機・改札機等更新	南北線・東西線	→								→				72
配電線更新 (電車線・駅舎配電線)	南北線	→									→		→	54
駅舎内電気・機械設備更新 (動力盤、配管等)	南北線・東西線	→												99
電力管理システム更新	南北線・東西線						→							10
変電所等設備更新	南北線・東西線	→							→				66	
可動式ホーム柵更新	南北線・東西線	→					→				→		31	
IC乗車券システム機器等更新	南北線・東西線	→			→				→				25	
配電室(電気室)設備更新	南北線・東西線	→							→				42	
土木構造物老朽化対策 (トンネル・高架橋)	南北線	→												18

- ・事業費は、過去の実績等からの概算値である。
- ・事業実施・金額・規模等について、今後の経営状況や社会情勢等に照らして決定していく。
- ・矢印は、事業費執行予定額が大きい年度を示しており、必ずしも事業着手や終了の年次を示すものではない。